

ユニバーサルコミュニケーション研究所  
先進的音声翻訳研究開発推進センター



〒619-0289 京都府相楽郡精華町光台3丁目5番地  
TEL: 0774-98-6300 FAX: 0774-98-6955

電車をご利用の場合

JR学研都市線祝園駅・近鉄京都線新祝園駅

- 奈良交通バス(約15分)  
36系統光台循環「光台三丁目」下車 向い  
46系統光台三丁目行「光台三丁目」下車 向い  
56系統学研奈良登美ヶ丘駅行「光台三丁目」下車 向い  
58,59系統学研奈良登美ヶ丘駅行「けいはんなプラザ」下車 徒歩6分

近鉄けいはんな線学研奈良登美ヶ丘駅

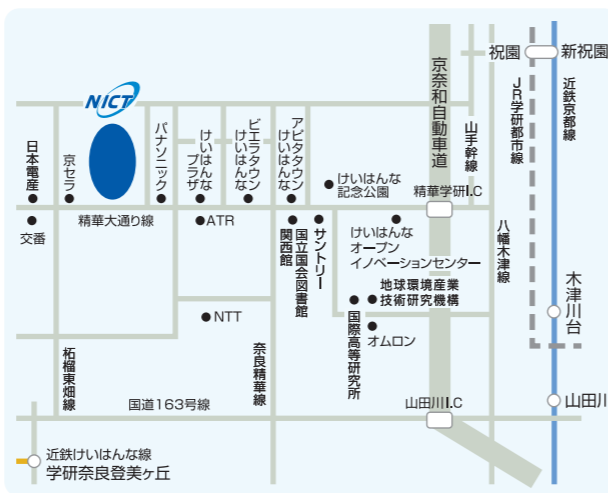
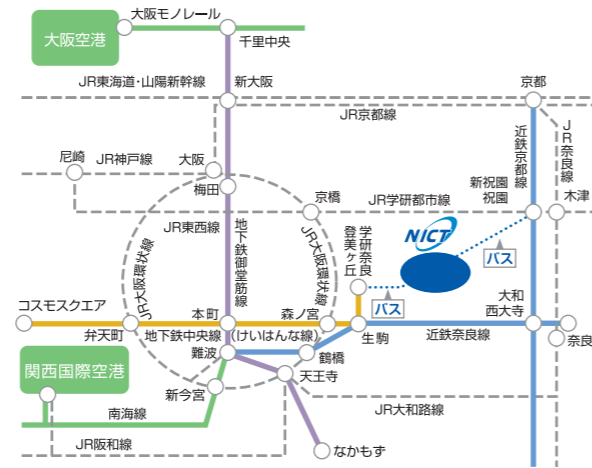
- 奈良交通バス(約15分)  
56系統祝園駅行「光台四丁目」下車 バス停前  
59系統祝園駅行「けいはんなプラザ」下車 徒歩6分

車をご利用の場合

- 大阪から 阪神高速13号東大阪線→第二阪奈道路→中町ランプ→学園前経由→登美ヶ丘経由
- 京都から 阪神高速8号京都線→第二阪奈道路→新名神高速道路→京奈和自動車道→精華学研I.C.→精華大通り線
- 奈良から ならやま大通り・奈良精華線

高速バスをご利用の場合

関西国際空港、京都駅八条口(試験運行中)より  
けいはんなプラザまで直行バスがあります。



NICT本部

電車をご利用の場合

JR国分寺駅 ※バスの所要時間、いずれも約10分

- 立川バス(北口) 「情報通信研究機構前」下車 徒歩2分
- 銀河鉄道バス(北口) 小平駅南口行 「サレジオ通り」下車、バス停前
- 京王バス(南口)1番乗り場 小平団地行 「情報通信研究機構前」下車 徒歩2分

JR武蔵小金井駅

- 京王バス(北口)5番乗り場 小平団地行(約15分) 「情報通信研究機構前」下車 徒歩2分

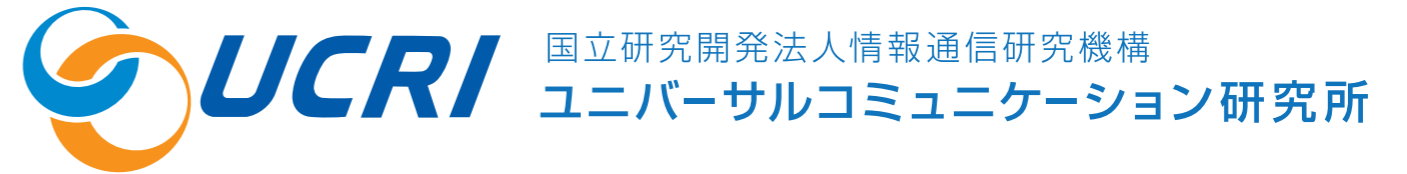
西武新宿線小平駅

- 銀河鉄道バス(南口) 国分寺駅入口行(約15分) 「サレジオ通り」下車 バス停前



情報通信研究機構(本部)  
〒184-8795 東京都小金井市貫井北町4-2-1  
URL: <http://www.nict.go.jp/>

NICTに関するお問い合わせは広報部まで。  
Tel: (042) 327-5392 Fax: (042) 327-7587  
E-mail: [publicity@nict.go.jp](mailto:publicity@nict.go.jp)



<http://ucri.nict.go.jp/>



データと情報から  
知識・知恵へ



## ごあいさつ

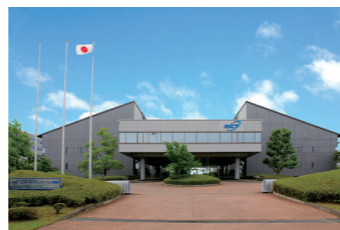
情報通信技術は進化を続けており、全てのモノがインターネットに繋がるIoT(Internet of Things)の時代を迎えています。インターネットでは人によって発信されるWebやSNSなどのデータが大規模に流通していますが、多様な機器やセンサーをインターネットに接続可能とするIoT技術によって、人手を介さず機械的に生成されるデータも爆発的に流通する世界になりつつあります。これらの多種多様なデータは社会を知るために非常に有用な情報を含んでいますが、それらのデータから本当に価値のある情報を発見することは容易ではありません。

ユニバーサルコミュニケーション研究所は、2016年度から始まった第4期中長期計画において、第3期中期計画で研究開発を進めてきた大規模自然言語処理に基づく情報分析技術を、社会の知を解析する社会知解析技術に発展させ、さらに情報活用基盤技術をIoTデータに適応させた新たな利活用基盤技術として進化させるための研究開発を実施しています。得られた研究開発成果は実用的なシステムとしてインターネット上で実証実験すると共に、「けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会」\*や「高度言語情報融合フォーラム(ALAGIN)」\*などの活動を通して企業へ技術移転をするなど、社会実装も進めています。

## 組織

ユニバーサルコミュニケーション研究所

- 企画室(けいはんな、本部)
- データ駆動知能システム研究センター(けいはんな)
- 情報利活用基盤総合研究室(本部)



### \*けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

NICTけいはんな情報通信オープンラボの活用を含め、関連する分野における、大学、通信・放送事業者、メーカー、研究機関、ベンチャー企業、地方自治体等による実効的な産学官連携を構築し、関西発の新たなサービスや産業の創出を目指すとともに、人材育成にも寄与します。

<http://www.khn-openlab.jp/>

### \*高度言語情報融合フォーラム(ALAGIN)

人間同士あるいは人間と機械の「言葉の壁」、Web情報に内在する「情報の量の壁」、「情報の質の壁」を克服する技術を対象に、言語の「壁」を感じさせないコミュニケーションを実現する「スーパーコミュニケーション技術」の研究開発の展開・普及と研究開発の更なる推進を、産学官連携によって一層進めることを目指しています。

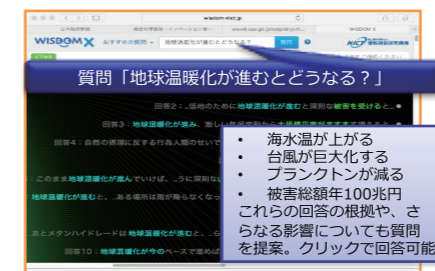
<http://www.alagin.jp/>



研究所長  
木俣 豊

## データ駆動知能システム研究センター【DIRECT】

複雑化していく現代社会において、一見かけ離れた情報間の予想もしなかった繋がりが重大な帰結をもたらす事例が頻繁に生じています。データ駆動知能システム研究センター(DIRECT)では、そうした情報間の組み合わせを、ユーザが簡単に、かつ分かりやすい形で入手するためのシステムや、そうした技術を支える巨大な言語データベースを研究開発しています。より具体的には、Webなどにある大量のテキストを意味的に深く分析する技術、その結果得られる情報の価値ある組み合わせや仮説を発見する技術などを開発しています。大規模Web情報分析システムWISDOM Xは、Web40億ページの情報に以上で述べた技術を適用し、「なに」「なぜ」「どうなる」といった質問に対して、回答や仮説を提示します。また、対災害SNS情報分析システムDISAANA(耐災害ICT研究センターと連携)はSNS上に投稿された災害関連情報をリアルタイムに分析するもので、実際に大規模災害時の情報収集、状況把握で活用されています。



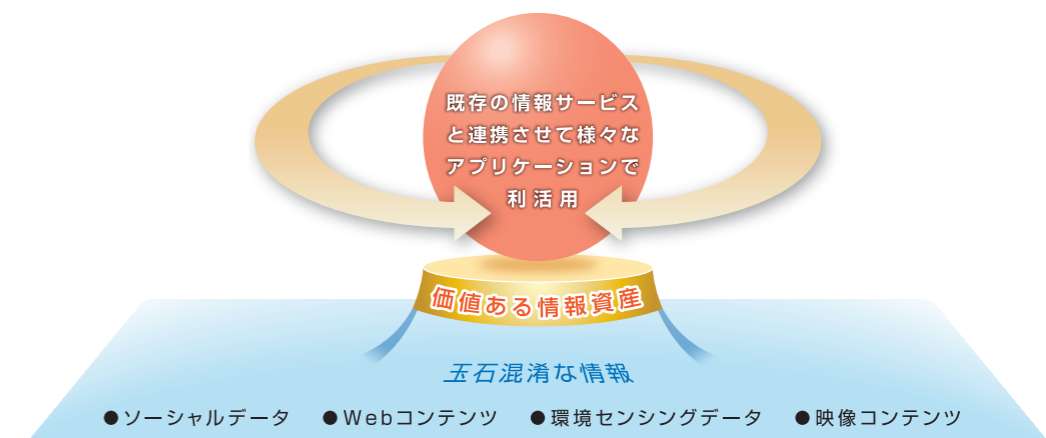
WISDOM X  
<http://wisdom-nict.jp/>



DISAANA  
<http://disaana.jp/>

## 情報利活用基盤総合研究室

ゲリラ豪雨や環境変化等、社会生活に密接に関連する実空間情報を適切に収集分析し、社会生活に有効な情報として利活用することを目的としたデータ収集・解析技術の研究開発を行っています。また、高度化された環境データを様々なソーシャルデータと横断的に統合し相関分析することで、交通等の具体的社会システムへの影響や関連をモデルケースとして分析できるようにするデータマイニング技術の研究開発を行っています。さらに、これらの分析結果を実空間で活用する仕組みとしてセンサーやデバイスへのフィードバックを行う手法及びそれに有効なセンサー技術の在り方に関する研究開発を行うことで、社会システムの最適化・効率化を目指した高度な状況認識や行動支援を行うシステムを実現するための基盤技術を創出し、その開発・実証を行います。



【実空間情報解析】